

2008 ASIAGRAPH

韓国, 日本デジタルコンテンツ展 展示構成計画

□ 展示会規模と実績

展示面積：20,000 平方メートル

2007 年参観客：150,000 人 / 2008 年 300,000 人参観予想

2007 年広告収益：7 億 5 千万 RMB

2007 年ビジネス交易：375 億 RMB

2007 年参加国家：12 ヶ国 170 個企業

□ 参加対象

世界のデジタルコンテンツ関連企業

韓日のデジタルコンテンツ大賞受賞企業

A-Mark 対象指名企業

韓日大学および研究所

□ 構成方案

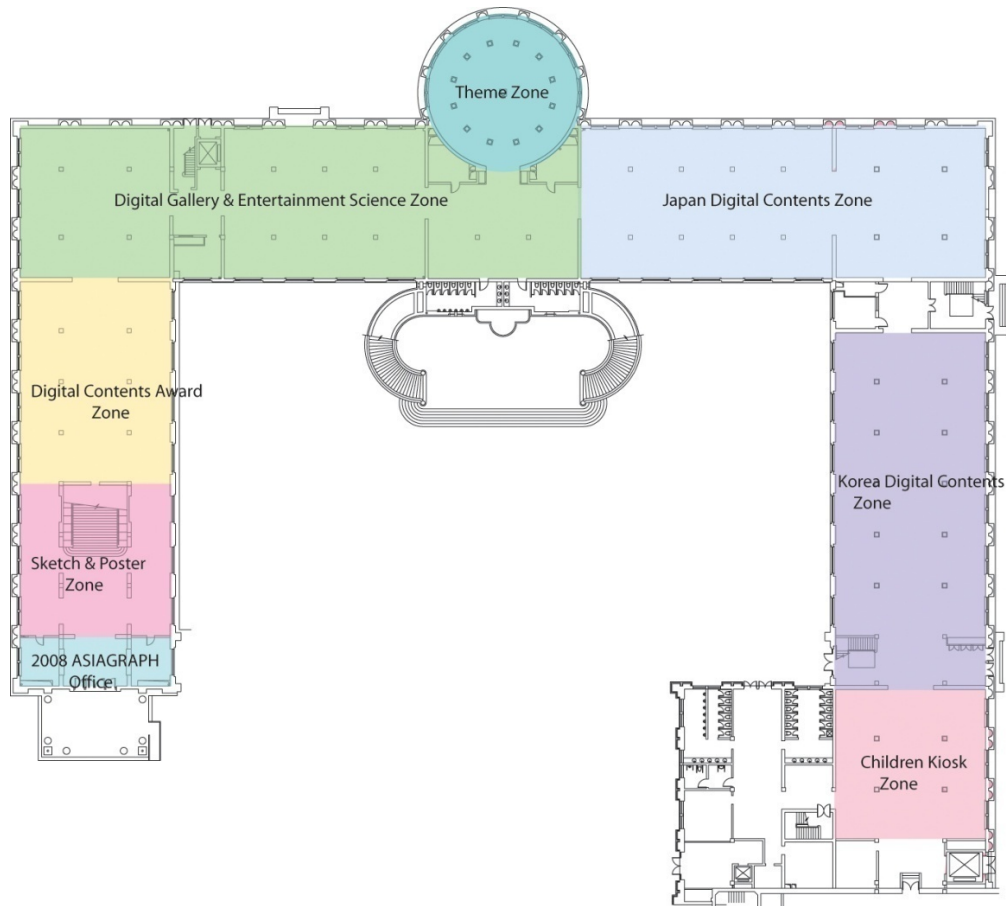
- 展示ブースのデザインマニュアルを主催側より提供。展示の際の設置人員や設計費用は主催者側による。
- 各企業は企業の特性に応じてデザインマニュアルに沿って選択し、データのみ送れば本部で一括処理。
- 展示空間を韓国館, 日本館で区分し、各国の参加企業のビジネス効果を最大限生かすことの出来る展示構成。
- 各企業に LCD モニターを提供。企業の案内, コンテンツ, 広報映像をそのモニターを通じて広告宣伝することができる新しい展示技法。
- コンテンツ同一分野企業のブースをグループ化し、バイヤーや来場客の便宜を図ったり、分野別特色のシナジー効果を図る。
- 基本ブース以外の必要なハードウェアはレンタル提供。
- 基本ブースはオープン形態で、バイヤーと観客の接近を実現。

□ ビジネス相談ゾーン

- 韓国館, 日本館内にビジネス相談ゾーンを設置。
- 公共機関への発注相談と企業間の売買相談, 取り引き契約などを用意。

- 企業には購買者情報や入札情報及び購買者との取引機会を提供

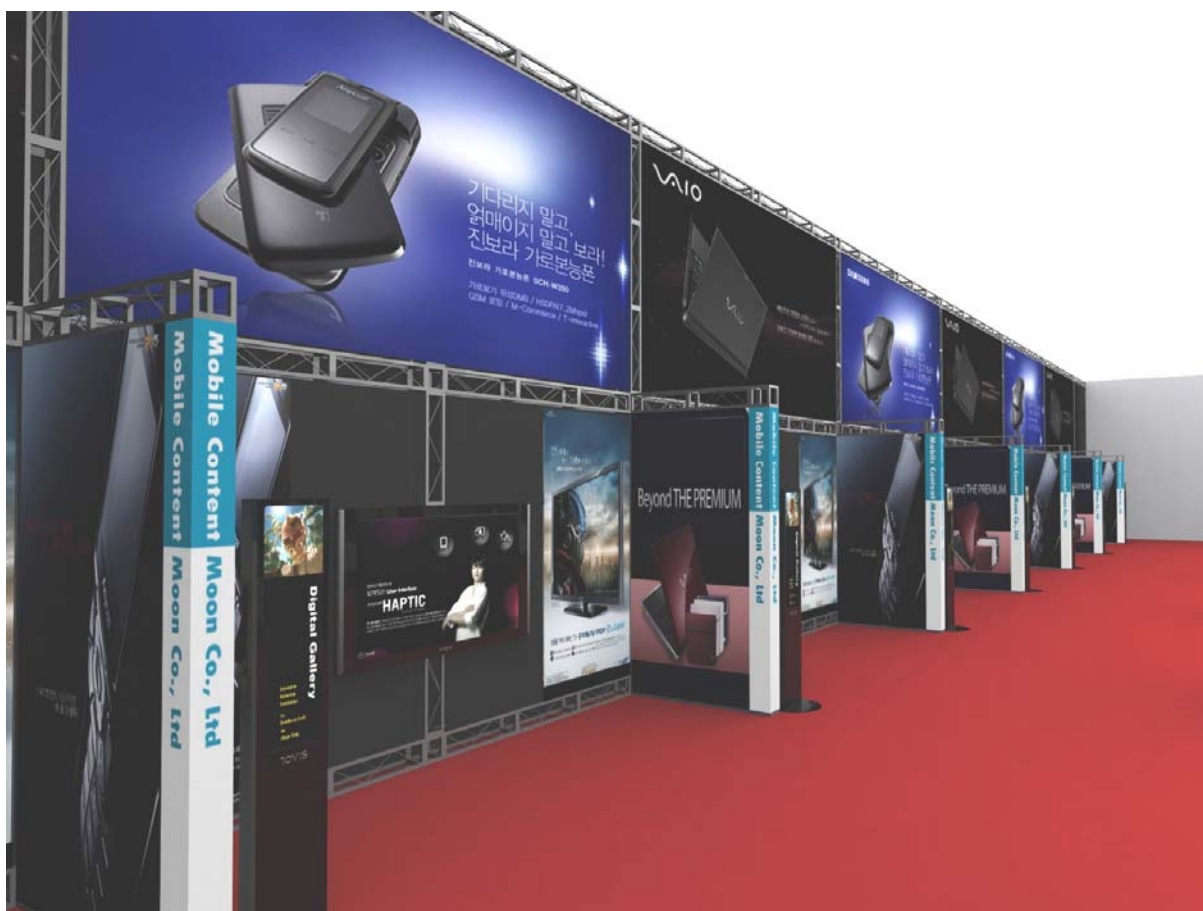
展示構成圖



展示デザインマニュアル

□ 基本ブース

- LCD モニター提供 - 企業の広報、製品広報、企業案内を平面、立体、動画で表現することができる LCD モニター1 台提供（横 33cm x 縦 98 cm 画面）
- 製品及び企業イメージパネル提供。（パネルの大小と枚数は各企業で選択）
- 会社名看板（統一）
- ブースのイメージ規格は各社の選択で構成
- 1 ブース幅に 2 企業展示可能。LCD モニター

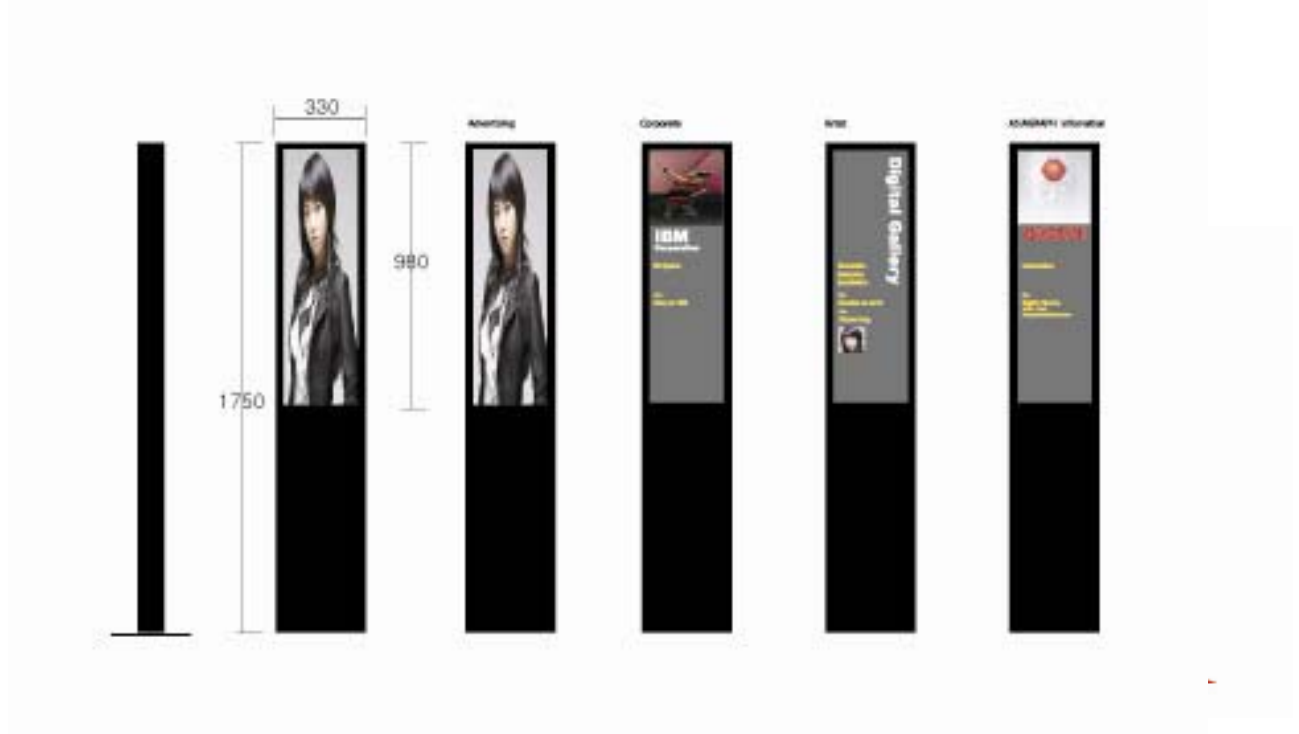


(1 ブースの基本設備列)

* 上部看板広告は別途。(規格 2200 x 4800 広告費 は20 万円)

□ 企業の準備事項

- 広告用動画。(5 分以内の映像)
- 会社や製品のイメージ及び説明ファイルと企業広報に必要な資料。
- 区切り看板イメージ - 縦 2350×横 1200×1 枚
- 後方パネルイメージ - 縦 900×横 2350×2 枚、または縦 2350×横 900×2 枚 (選択)。
- 展示物 - 実製品など。
- 広告資料 - 製品カタログなど。



□ LCD モニター用ファイルフォーマット

動画は mov ファイル

出力ファイルは 200dpi 以上

すべての資料は CD で郵送

□ ハードウェアレンタル

基本デザイン以外で企業が必要とする設備は別途で支払い。
(コンピューター, 追加 LCD モニター, プロジェクトなど)



□ 予算 (1 ブース)

項目	規格	金額
ブース	200cm X 480cm	30 万円
広告パネル	220cm X 480cm	20 万円